

則武のぶひろ議事録

論戦採録

十一月定例市議会第二日目、則武宣弘議員は公明党岡山市議団を代表して高谷新市長に質問を行った。

事業仕分けの推進

則武氏 税の無駄を省き歳出を削減するため、公明党が提唱している行政の仕事洗い直す事業仕分けの推進をどうするか。

池上局長 現行事業が市民ニーズに合致しているのかどうかの点検は、行財政改革の出発点と考える。廃止、再編等のすべき事業を洗い出す有効な手法であり、改良を加え平成17年度中の試行を目指し、全庁をあげて取り組みたい。

乳幼児医療費の年齢拡大

則武氏 乳幼児医療費助成の就学前までの引き上げに向けて、予算確保等、今後の見通しについて伺いたい。

高谷市長 厳しい財政状況ではあるが、早期実現に向けて検討中である。現在、5分の1の県の補助率が県内他市町村並みの2分の1に還元されれば、年間1億5千万円余の負担軽減となるため、同じ問題を抱える倉敷市とも連携し、県に対し強く働きかけていきたい。

介護保険料の見直し

則武氏 平成18年度の介護



保険料の見直しはようになってくるのか。保険料のアップが予想されるが、中・低所得者の保険料の軽減を図るため、新たな保険料段階の創設を考えているのか。

長島局長 介護サービス量の伸びから、ある程度の保険料の上昇は避けられないが、保険料の段階を増やすことで低所得者の負担軽減等が図られるため、現行の5段階を7段階

とすることも視野に入れ検討している。

洛陽市との交流再開

則武氏 2003年4月の岡山市と新竹市との友好交流締結に際し、洛陽市側から交流凍結の通知があった。そのため市民訪問団の訪中などは滞った状況になっている。来年は洛陽市との友好交流締結25

周年であり、洛陽市への市民訪問団の派遣を考えているのか。

NHK跡地の活用

則武氏 NHKがリットビルに移転したためNHK跡地の問題など中心市街地の活性化とカルチャーゾーンを考慮した整備を考えていく必要がある。跡地の活用法について伺いたい。

風早局長 土地と建物の買い取りを平成18年度に予定している。現在は不動産鑑定評価と取得条件についてNHKとの協議を行っている。同跡地は岡山城二の丸内屋敷郭跡の一角で、将来の史跡指定と史跡整備を想定し、整備までの間はカルチャーゾーンの歴史的地

区的环境を損なわない形で市民負担を軽減できる方法で利用したい。

発達障害児の支援策

則武氏 近年、発達障害がある子供が増え、幼稚園や保育所にも自閉症、ADHDなど、支援を必要とする子が7%近くいると言われている。発達障害に関する専門性を備えた人材の育成、拡充を図り、なおかつ幼稚園、保育園、家庭専門機関のコーディネーター的役割を果たす機関、人材が必要であるが、どう考えているのか。

山根教育長 教員の専門的知識や技能を高めることを目的とする「特別支援教育研

修推進事業」に取り組み、人材育成に努めている。ことばの教室での相談で必ずしもニーズに答え切れない課題もあり、今後、専門機関との連携や研修の充実を図り、教師の専門性も高めていきたい。コーディネーター的役割を果たす機関・人材は必要であると認識しており、教育・福祉・医療等の関係者で構成する「特別支援連携協議会」を設置し、支援のあり方などを協議し、関係機関との連携を図る。

西川緑道公園の活用

則武氏 西川緑道公園にテニスパークの要素を加え、観光対策に活用してはどうか。

井口助役 西川緑道公園は、全国に誇れる岡山市の資産である。周辺の賑わい創出と公園の再整備との一体的な計画作りを地元住民等と協働で検討する前段として、市内15の関係課でワーキンググループを結成した。緑道一帯の魅力向上で生まれる新たな賑わいと文化を全国に発信すること、岡山を訪れるファンの増加につながるものと考ええる。



NORIさんの視点

11月定例議会の第二日目は代表質問の初日であり、高谷茂男市長にとつては初めての質問戦となった。この日2番目の代表質問のバッテリーとなった私に対し、高谷市長の答弁は4分半ほどで終わり、市長の本音や意気込みが感じられなかった。そこで再質問の時間を13分残していたため、市長に訴えるように行財政改革や乳幼児医療費助成の問題などを掘り下げ再質問をした。通常ならすぐに答弁が行われるがここで「異例」の休憩を挟んだ。

改革の原点

議場にどよめきが起こしたのは、再開後の市長の答弁だった。そこまでは答弁書を読み上げる形だった高谷市長が、10分間にわたり自分の気持ちが入った持論を展開し、行財政改革や操車場跡地などへの思いを語り、最後には「今の職員は半分でもやれる」という過激発言が飛び出した。

官から民へ訴えて登場した高谷市長の発言に議員がどよめいたのは、「そんなことはできない」との行政慣れした考えからだと感じる。私も「職員を半分なんて」という思いがした。その後思ったことだが、その昔、小泉純一郎郵政大臣が「郵政民営化」を訴えたことを思い出した。「改革」とはこの時の発言から始まるのだろうか。

実現しました！

岡山市の悪臭防止対策、臭気指数に変更

昨年11月定例議会、環境消防水道委員会が「悪臭規制のあり方を「物質濃度規制」から「臭気指数規制」に変更する旨の報告があった。岡山市では悪臭防止法に基づきアンモニアなど22の物質の濃度を分析して規制する「物質濃度規制」を用いてきましたが、最近の悪臭苦情は、複合臭や規制対象外の悪臭が原因であることが多く、対応が困難になってきた。

そのため、規制方式を、人間の嗅覚を利用して悪臭の程度を数値化する「臭気指数規制」に変更すべきとの岡山市環境保全審査会からの答申を受け、本年6月1日より施行とする報告があった。

